

第10回土砂災害に関するシンポジウムの開催中止と論文募集のご案内

新型コロナウイルス感染症への対応について -シンポジウム開催の中止と論文集（電子版）発行のお知らせ-

緊急事態宣言が全国に発せられその蔓延が心配される中、本シンポジウム開催可能性について検討してまいりましたが、万全な状態で開催することは困難と判断し、8月28、29日開催のシンポジウムは中止することと決定しました。しかしながら、論文募集を開始して数ヶ月が経過し、数編の投稿と、投稿準備をされている方々がおられることを考慮し、**論文集（電子版のみ）は従来どおり全文査読のうえ発行することとしました。**

つきましては、引き続き論文募集を下記のとおり行いますので奮ってご投稿をいただきますようお願いいたします。
(実行委員長 鈴木素之)

記

- 主催 (公社) 土木学会西部支部
- 共催 (公社) 土木学会中国支部
- 後援 (公社) 砂防学会, (公社) 地盤工学会, (公社) 日本地すべり学会, (一社) 日本応用地質学会, (一社) 水文・水資源学会, 日本自然災害学会, (公社) 日本技術士会中国本部・九州本部, (一社) 建設コンサルタンツ協会中国支部・九州支部, 山口県技術士会
- 開催期日 2020年8月28日(金), 29日(土) 中止となりました。
- 開催場所 ~~山口大学医学部A棟1階大講義室(オーディトリウム)
(〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号)~~
- 論文投稿締切 2020年6月1日(月), **7月1日(水)に延期しました。**
査読結果の通知 6月29日(月)〜7月8日(水) 8月に延期しました。
- 論文投稿料 無料 掲載論文1編につき5,000円(会員, 非会員を問いません。)
- 参加費 5,000円(会員, 非会員を問いません。~~論文集代2,000円を含みます。~~)
- 論文課題:
 - ① 豪雨・地震に起因して発生した崩壊, 土石流, 地すべり, 天然ダム等に関する調査研究
 - ② 斜面の監視システム, モニタリング技術に関する調査研究
 - ③ 土砂災害の警戒避難, 情報伝達, 危機管理などソフト対策に関する調査研究
 - ④ 土砂災害を引き起こした豪雨の気象特性に関する調査研究
 - ⑤ 砂防えん堤などのハード対策に関する調査研究
 - ⑥ 土砂・流木の生産・流出・氾濫および河道閉塞に関する調査研究
 - ⑦ 土砂・流木の侵食・流動・堆積に関する調査研究
 - ⑧ 土砂災害, 流木災害の数値シミュレーションに関する研究
 - ⑨ ダム堆砂, 流域の土砂動態, 総合土砂管理に関する調査研究
 - ⑩ その他, 土砂災害と水害が混在した複合災害などに関する調査研究
- ※災害報告, 資料解析, 現地調査など現場からの報告も歓迎します。
- 論文体裁 「土砂災害に関するシンポジウム」ホームページに掲載しています。
- 査読 全文査読を行います(使用言語: 日本語もしくは英語)。
- 発表形式 ~~口頭発表(使用言語: 日本語もしくは英語)~~
- 論文投稿方法 以下のURLにアクセスし, 論文投稿願います。
https://www.ac-research.jp/jsce/sediment_disaster/
- 問合せ先 鳥取大学 三輪 浩 (E-mail: miwa-h@tottori-u.ac.jp) または
鹿児島大学 酒匂一成 (E-mail: sako@oce.kagoshima-u.ac.jp)
- 参加方法, プログラムなど ~~「土砂災害に関するシンポジウム」ホームページに掲載予定。~~
- 論文集の公開 ホームページにおいて10月(見込み)に公開するとともに他の方法についても検討。
- 「土砂災害に関するシンポジウム」ホームページ http://committees.jsce.or.jp/seibu_s01/